

### 自己評価及び外部評価結果

#### 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0175000314		
法人名	社会福祉法人 きたの愛光会		
事業所名	グループホーム秋桜		
所在地	北見市北光296番地7号		
自己評価作成日	平成26年10月15日	評価結果市町村受理日	平成27年2月27日

#### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

地域の皆さんのご協力を頂き、盆踊りや合同誕生会を一緒に行ったり交流を深めております。今後もこれらの活動を大切にし、継続し、地域にしっかり根付いたグループホームになるよう努めております。

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL [/index.php?action\\_kouhvou\\_detail\\_2014\\_022\\_kani=true&JigyosyoCd=0175000314](http://index.php?action_kouhvou_detail_2014_022_kani=true&JigyosyoCd=0175000314)

#### 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	有限会社 NAVIRE
所在地	北海道北見市本町5丁目2-38
訪問調査日	平成26年11月21日

#### 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

グループホーム秋桜を運営する母体法人は、北見市内に特別養護老人ホームを始めとして、デイサービスや居宅介護事業所等、多くの高齢者福祉事業を展開しています。年に2回は法人全体の職員が一同に会する全体会議が開催され、法人理念の確認や事業報告・計画等話し合わせ研修も行われています。職員は「ゆったり、ゆったり、家庭的な雰囲気の中で個人の尊厳を守り、自立した楽しい生活を安全に安心して行えるよう家族・地域と共に支えていく」の理念の実践に努めるべく、忙しい時ほど確認しながら利用者の暮らしを支えています。今年度は法人の特別養護老人ホームの作業療法士の協力を得て、歩行状況や介助方法、体操等のアドバイスを受けケアプランに反映し、利用者の身体能力保持に努めています。事業所前の広場では町内会主催の盆踊りが行われたり近隣住民が畑や草刈りをしてくれたり、週に一度専門学校生のボランティアが訪れる等地域住民と相互交流が行われています。昔の箒箆等馴染みの家具を配置した室内では、利用者が楽しそうにゆったり過ごしている様子が伺えます。

### V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目: 23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目: 9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目: 18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目: 2,20)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目: 38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目: 4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目: 36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目: 11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目: 49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている (参考項目: 30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目: 28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない			

## 自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I.理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	理念の実践を目標にして取り組んでおります。理念をいつでも見えるところに、掲示しております。	法人理念を法人全体会議の中で取り上げ浸透を図ると共に、事業所理念を玄関、事務所等眼に付く所に掲示し、理念に沿った介護支援が出来る様実践に努めています。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	気軽に交流できるように、春から夏にかけては外にて日光浴をする時間を設けております。その際に、近所の方と話したり、お互い畑で取れた物などをやり取りしたり、顔を合わせるたびにあいさつをさせて頂いているおかげで、協力者が増え周辺の整備や畑の仕事、花壇などの作成など数多くの事を近所の方が、行ってくださっております。	町内会に加入し、町内会主催の盆踊りを事業所も参加して事業所前の広場で開催し交流に努めています。畑や草取り等地域住民の協力が得られており、地域の老人クラブの誕生会に参加したり、散歩時にお花を見せて頂いたり、日常的な付き合いがなされています。週に一度実習を兼ねて専門学校生のボランティアが訪問しています。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	町内行事も花見、合同誕生会、盆踊り、避難訓練にも参加させていただいており、その際に、近所の方に、会話の中で認知症について話をさせて頂いたり相談を受けるなど行わせて頂いております。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	参加者との日程が合わず不定期になってしまっており、実施を実施しております。話が一方的になってしまう事が多くなってしまっていますが、出た意見はすぐ取り組めるよう努めております。	利用者家族代表、町内会会長、老人クラブ会長、民生委員、地域包括支援センター職員等が参加して実施していましたが、町内会役員が代行になった事もあり、定期的な開催が難しい状況となっております。	様々な状況を工夫する中で、運営推進会議の定期的な開催と、多くの家族の参加、情報の共有に努める事を期待します。
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	市の主催する研修・会議に(積極的に)参加すると共に、必要に応じ市と連携を図り、サービスの質の向上に取り組んでおります。	介護保険課や生活保護課等関係機関と連携を取り、相談や情報交換に努め、サービス向上に反映させています。市の依頼を受けての見学の受け入れ等協力関係を築いています。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	法人内・法人外の、身体拘束の研修に(必要に応じて)参加し研鑽を積み、法人の身体拘束の指針を正しく理解し身体拘束をしないケアに取り組んでおります。センサーマットを使用する際はご本人、ご家族に了承を得て使用させて頂いております。	法人として指針を作成し、内部研修を実施して、職員は身体拘束の及ぼす弊害を理解しており、利用者の立場に立った言葉掛けに努めています。気になる事が有った時にはミーティングで話し合い身体拘束をしないケアに取り組んでいます。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	高齢者虐待防止関連法について職員一人一人が虐待に対する関心は高く、不定期ではありますが、月のミーティング等で、全員で学ぶ機会をもうけ虐待を起さないよう注意を払い防止に努めております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	権利擁護に関する研修などに(積極的に)参加すると共に、職員が必要について理解をし必要な人が出来た場合、制度を活用できるよう取り組んでおります。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	利用者の家族が、十分に理解・納得できるように親切・丁寧の一つ一つ契約書を確認しながら説明を行っております。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	日常的に利用者が、意見、不満、苦情を話せる環境を整えるとともに、利用者については、常に状況を観察し表情態度から読み取ると共にそれらを、運営に出来るだけ反映させるようにしております。契約者様については、契約時に重要事項説明書にて説明を行い、意見箱も設置しております。玄関にポスターや掲示物により周知できるようにしております。また、家族会を通じても意見を反映することが出来るようにしております。	家族会として夏には焼肉交流会を開催したり、クリスマスには事業所の状況報告を行い意見、要望を聞く機会をもうけると共に、家族の面会時には日頃の様子をお伝えし、遠方の家族には電話で報告しています。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職員が運営に関し意見や提案を行える場として、月一回のミーティングを開催しており出された意見等については、出来るだけ反映できるように努めております。母体施設の施設部門係長・計画作成主任にも参加頂きその都度意見をいただいております。	管理者は毎月のミーティング時や日常業務の中で職員の希望や要望を把握し、必要があれば施設長に繋げ反映する様にしています。年に一度、職員の意向調査を実施し、働き方の意向を把握しています。法人の全体会議が年に2回行われ、その中で内部研修を実施し、職員の育成に努めています。	内部研修は実施していますが、外部研修の機会が少ない状況になっています。外部研修の機会を工夫していく事を期待します。又、外部評価に伴う自己評価を職員全員取り組んでみたり、ミーティング時等に気軽に意見交換し合い、更なるサービス向上に繋げる事を期待します。
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員個々の状況を把握し、将来に向かって向上心を持って、働き続ける環境を整えるためテーマを設定し学習するとともに、本人にとって必要な資格取得について認識をしてもらい母体施設で行っている試験に向けての自主的な学習会に出来るだけ参加しております。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員の育成については、個々の段階に応じ研修を法人内部で実施しております。また外部研修も参加できる機会を確保しております。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	サービスの質の向上に努めていますが、他のグループホームとの職員の交流や事例等交えた意見交換等は、協議会の集まり等に参加し出来るだけ多くの他グループホームの職員と交流できるようにしております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	本人や家族に聞き取りを行いそれに基づいて、寄り添う事からはじめ、話を傾聴し面談の中から本人の思いや不安を少しでも引き出せるように、出来るだけ早期に信頼関係が、構築できるように努めております。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	本人との信頼関係の構築のうえに、サービスを利用するに至るまで家族の思いや不安に対しても十分傾聴し、受け止めるよう努めております。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	よく話を傾聴し適切なサービスの利用に結びつくよう支援すると共に、必要に応じてその地域を担当している居宅介護支援事業所・地域包括支援センターへ相談する等連携を図っております。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	寄り添うことを大切にしお互いに学んだり支えあい、信頼関係を構築するように努めております。		
19		○本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族会の行事等(焼肉・クリスマス会)を通じ交流するとともに、利用者の通院などの利用に際しても都度連絡をしたり一緒に同行して頂いたりと御家族と一緒に本人を支える関係を築いております。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	行き慣れている病院・店などは出来るだけ行けるように支援しております。面会なども制限していないため余程の事がない限り どなたでも尋ねてきた人は、お通しております。	朝食にパン食を希望する利用者や買い物に出掛けたり、馴染みの美容室に髪染めに出掛けたり、外出時には化粧をしたりと、利用者のこれまでの関わりや習慣を大切にされた支援に努めています。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	部屋に引きこもらないように、個人の嗜好に合わせ居間で歌・体操・読み聞かせ・ゲームなど行い出来るだけ皆さんと一緒に行動できるようにしております。なかなか会話にならない人などは、会話の仲介を行ったり話題を提供することにより少しでも関わりが持てるようにしております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	長期入院で退所された方で、次の入所施設が決まるまで、郵便物などの管理を行ったり面会に、訪れるなど関係を継続するよう努めております。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	毎月のミーティングなどで話し合い、できるだけ本人の意向に近づけるように努力しております。	アセスメントによる生活層の把握や、家族からの情報、日々の関わりや体調等、様々な方向から利用者の思いを受け止め、職員間で共有し思いに沿った支援に取り組んでいます。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人・担当の居宅支援事業所、包括支援センター、家族より聴き取りを行い出来るだけなじみの暮らしが出来るようにしております。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	個人の行動や会話の中からその人の置かれている状況を的確に把握するように努めております。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	職員間で、話し合ったもので原案を作成し、本人・家族などと話し合い、介護計画にそれぞれ意見が反映されるよう努めております。	利用者との会話や家族からの希望、看護師、作業療法士からの意見やアドバイス等を取り入れ、状況に即した介護計画を作成しています。介護計画は「サービス実施結果表」で毎日チェック見直しに活用されています。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	連絡ノート・個人記録などを利用し情報を共有しながら実践や介護計画見直しに生かしていますが、まだまだ情報量が不十分な箇所があるので少しずつでも改善できるよう努めております。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	法人では入所施設・居宅サービスを実施しており、その機能を活かして、必要に応じて支援を行っております。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	ご近所の方の畑、草刈などのボランティア、お互い取れたものや頂き物のやり取り、年2回の避難訓練(消防より2名参加)、運営推進会議に参加している民生委員・町内会役員の方の協力をもらい支援を行っております。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人家族の意向を尊重し、以前通院していた病院で受診できるようかかりつけ医との関係を築き適切な医療を受けられるよう支援しております。	利用者、家族の希望するかかりつけ医と連携し、適切な医療が受けられる様に取り組んでいます。受診は基本的に家族対応ですが、状況によっては事業所に対応しています。週に一度24時間対応の訪問看護師が訪れ健康管理を行っています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	訪問看護や法人内の看護師の協力を得ながら、日常の健康管理や医療の支援を行っております。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院された場合は、定期的にお見舞いに行きその都度状況を聞いております。病院側からも分からないことは、電話や訪問時に相談され連携は十分は図れております。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化した場合の対応の指針、看取りに関する指針を設け、ご家族にも説明を行い同意を得ております。	重度化した場合及び看取りに関する指針を作成し、入居時に事業所の方針を説明し同意書を交わしています。看取りが必要になった時には家族、医療機関と話し合い、医療行為が発生した時には対応が難しい事を伝えております。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	職員全員消防が行っている普通救命講習を受講しており、年2回の定期的な防災会議を実施しております。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回消防の職員立会いのもと避難訓練を行っており、注意事項などその都度教えていただいております。そのうち1回は運営推進会議に出席していただき地域の皆さんを交え防火について学んでおります。避難訓練には、近所の方、ご家族、民生委員、町内会長、老人クラブ会長、地域包括支援センターの方に参加をいただいております。緊急時の協力をお願いしております。	年に2回、日中・夜間想定火災避難訓練を地域住民の参加を得て実施し、避難場所の協力も得られています。災害備蓄は法人本部に用意してありますが、事業所はこれからとなっております。非常口には段差があり、現在対策を検討しております。	停電等火災以外の災害を想定した対策や、持ち出し品、自主点検、非常口の改善等更なる災害対策の強化を期待します。
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	一人ひとりを尊重した言葉かけやプライバシーを尊重した対応をし、個人情報の保護にも配慮しております。	管理者、職員は利用者の尊厳を尊重し、心情に配慮した対応を心掛けています。呼びかけるときはさん付けを基本としています。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	個人個人の意向を尊重し出来るだけ自分で決めたり、納得しながら安心して暮らせるように支援しております。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりの希望を傾聴し、できるだけ希望に添うように配慮しております。また表出できない方については、本人のペースに合わせ、ゆっくりゆったりと行動していただけるように配慮しております。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	理容店等なじみの店に出かけることができるようにしています。行事等に参加するときは、本人の好みに合わせ、その場に合った服を着ることができるよう配慮しております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	嗜好・状態に合わせて別メニューにしたり、食事を楽しんで頂けるように、能力に応じて食事の介助を行ったり。残存機能に応じて調理・下膳・茶碗洗いや手伝って頂いております。	法人本部の栄養士が立てた献立を職員が調理し、利用者も準備や後片付けを職員と一緒にしています。日曜の昼食は事業所独自のメニューとなっており、利用者の希望を取り入れた献立を作成し、食事が楽しめるように配慮しています。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	法人内の栄養士が作成したメニューを元に食事・水分摂取表を作り管理しております。食事も個人にあった形態で、提供しております。摂取状況に変化が見られた場合は栄養士よりアドバイス頂いております。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後個人の状態に合わせて介助しています。口腔ケア時に口腔内、舌のマッサージ等も行っております。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄パターンを把握し個人にあった時間に誘導を行っております。トイレに行きたいという排泄サインを見逃さないように支援しております。	排泄記録を参考に、一人ひとりのペースに合わせた対応で排泄の自立に向けた支援に取り組んでいます。声掛けのトーンを工夫する等プライバシーに注意を払っています。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	かかりつけの医師への相談、法人内の栄養士からの指導、便通の良くなる食品の使用、訪問看護への相談、運動によりできるだけ自然に、出るように配慮しております。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	入浴日を決めておりますが、本人の希望を聞いているとほとんどの方が、入浴したくないと話があるため入浴日には、出来るだけ入っていただけるようにしております。入りたい希望があれば、随時対応しております。	週に2回は入浴出来るように支援しています。入浴時には、時間に追われる事なくゆっくり入って頂ける様に配慮しています。拒否のある方には無理強いせず声掛けやタイミングを図りながら気持ちよく入浴出来る様に取り組んでいます。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	個別の対応を行うことにより、居心地が良いように配慮しております。疲れやすい方には昼寝を促すなど配慮、対応行っております。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	各個人のファイルに薬の一覧表を、つけて周知徹底をしています。疑問があれば直ぐに確認できるようにしている事と、薬服用のマニュアルを作成し服薬時には2名でチェックを行っており誤薬を防止しております。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	利用者の生活歴を活かして、役割を担ってもらうなど個々に出来ることなど、なるべくやっていただいております。個人の好きなことなども尊重し行えるように配慮しております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	外にて日光浴を行い皆でお茶を飲んだりお菓子を食べたりされており、買い物・ドライブ・散歩など随時行っております。	花見や菊祭り等季節毎の外出の他に、食材を買いに職員と出掛けたり、近所を散歩したり、夏場には、前庭にテントを立てて昼食やお茶を楽しんだり、積極的に外出や外気浴を楽しむように支援しています。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	個人の能力に応じて所持して頂いております。必要なものが、あれば一緒に買い物へ出かけるなどの対応行っております。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話をかける介助を行っております。手紙の投函などは、書く人がいない為、実施しておりませんが、支援いたします。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	昔の生活感が出るように、食器棚、時計等配置しております。不快な光、音などには十分配慮しております。	昔の箆笥や馴染みの家具を配置した室内のリビングはスペースが広くソファも多く配置されています。加湿器を3台使用する等温湿度や光彩に注意を払っています。廊下には利用者の写真が飾られ楽しい雰囲気となっています。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	居間が広い為、一人になれたり、集うことが出来るよう、1人掛け、2~3人掛けのソファを設置しております。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室で心地よく過ごせるように、自分が使い慣れた物を配置できるよう配慮しております。	居室には押入れが設けてあります。利用者の状況に応じ家族と相談しながら使用し易い様に家具の配置を工夫しています。利用者は家族の写真や趣味の物を飾り居心地良く過ごしています。以前ストープだった暖房が各室エアコンによる暖房になっています。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	必要各所には手すりの設置、スペースが広い為、車椅子の自走も各人する事が出来、安全に残存機能をいかせるよう配慮しており、一人一人の理解力にあわせ混乱を招かないように、配慮し安全で出来るだけ自立した生活が送れるよう配慮しております。		